

# 第1章 ガイドライン作成の経緯

## ◆作成の経緯

小児の慢性機能性便秘症は、頻度が高く、早期に適切な治療がなされない場合には必ずしも予後が良好な疾患ではない。しかし、慢性便秘症の治療については、わが国における良質なエビデンスが乏しく、また海外とは患者の重症度が異なるうえに、使用されている薬剤が異なるために海外のエビデンスが必ずしも参考にならない。

以上のことから、わが国における小児便秘症の治療法を見直し、適切な治療方針を確立すべきであるとの認識が小児消化器病を専門とする医師の間で高まり、2008年日本小児栄養消化器肝臓学会(運営委員長 松井 陽)が、会員の中から特に消化管運動に関心の高い13名を選び「小児慢性便秘診療検討ワーキンググループ」を組織した。そのワーキンググループにおける討議の結果、①わが国の小児慢性便秘症患者のための診療ガイドラインを作成すべきである、②重度の便秘患児の多くが小児外科医によって診療されている実情をふまえ、小児外科医との連携が必要である、③本疾患については論文のエビデンスが乏しく、アンケート調査などによる専門家の意見の集約が必要である、ことが結論された。その結果に基づき、日本小児消化管機能研究会(事務局長 森川康英)の幹事会から推薦された8名の小児外科医を加えて、2010年、「小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン作成委員会」を発足させた。

作成にあたっては、21名の作成委員と37名の協力者が、4回の対面会議および随時のメール会議を行うとともに、メンバーの一部が、定義と分類、疫学・予後、病態生理、診断、治療総論、disimpaction、維持療法-生活・排便習慣、維持療法-食事療法、維持療法-薬物療法、外科治療の10分野を分担し、グループごとの対面会議、メール会議を行って作業を進めた。論文から後述の方法でエビデンスを求めるとともに、第39回日本小児栄養消化器肝臓学会(2012年、位田 忍会長)におけるシンポジウムでの討論を経て、最終的なコンセンサスを委員19名による投票(Delphi変法)によって得た。2013年2月の対面会議で委員と協力者の最終的な合意を得るとともに外部評価委員の評価を受け、日本小児栄養消化器肝臓学会(運営委員長 松井 陽)の運営委員および日本小児消化管機能研究会(事務局長 黒田達夫)の幹事の下承を得て発表するに至った。

## ◆作成組織

前述の通り、本ガイドラインは、日本小児栄養消化器肝臓学会および日本小児消化管機能研究会の推薦を受けた作成委員を中心に作成された。

本疾患については、論文のエビデンス、特にわが国の現状に即したエビデンスが非常に乏しい。したがって、エビデンスのみでは実用性のあるガイドラインは作成できないと判断し、委員会ではコンセンサス形成も重視した。そのため、作成委員以外に本症の診療経験が豊富な医師に「協力者」としての参加を積極的に依頼し、結果、37名の協力者が参加することとなった。

患児および養育者を委員として加えるべきか否かの討議がなされたが、以下の理由により加えないこととなった。理由として、本症が非常に幅広い年齢層にみられ、重症度や合併症などに著明な個体差があり、「代表的な」患児やその養育者が想定できないこと、また、委員や協力者の中に少なからず元患児および現患児の家族が存在したためである。ただし、本ガイドラインに対する将来的な評価などによっては、改訂作業における患児や養育者の参加を否定するものではない。

作成委員と協力者、外部評価委員は次頁の通りである。

## 小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン作成委員会

\*：日本小児栄養消化器肝臓学会，\*\*：日本小児消化管機能研究会

### 委員長

友政 剛\* パルこどもクリニック

### 副委員長

松藤 凡\*\* 鹿児島大学医学部小児外科

### 委員

位田 忍\* 大阪府立母子保健総合医療センター消化器・内分泌科  
 岩井 潤\*\* 千葉県こども病院小児外科  
 牛島高介\* 久留米大学医療センター小児科  
 岡田和子\* 岡田小児科クリニック  
 羽鳥麗子\* 群馬大学医学部小児科  
 八木 実\*\* 久留米大学医学部小児外科  
 渡邊芳夫\*\* あいち小児保健医療総合センター小児外科  
 上野 滋\*\* 東海大学医学部小児外科  
 奥田真珠美\* 兵庫医科大学ささやま医療センター小児科  
 河島尚志\* 東京医科大学小児科  
 窪田正幸\*\* 新潟大学大学院小児外科  
 窪田 満\* 埼玉県立小児医療センター総合診療科  
 佐々木美香\* 岩手医科大学医学部小児科  
 清水俊明\* 順天堂大学医学部小児科  
 十河 剛\* 済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科  
 高野邦夫\*\* 山梨大学医学部小児外科  
 田口智章\*\* 九州大学医学部小児外科  
 田尻 仁\* 大阪府立急性期・総合医療センター小児科  
 中山佳子\* 信州大学医学部小児科

### 協力者

竹内一夫 群馬大学大学教育・学生支援機構健康支援総合センター  
 河合富士美 聖路加国際メディカルセンター教育・研究センター医学図書館  
 家入里志 九州大学医学部小児外科  
 池田佳世 大阪大学医学部小児科  
 池田 均 獨協医科大学越谷病院小児外科  
 石丸由紀 獨協医科大学越谷病院小児外科  
 恵谷ゆり 大阪府立母子保健総合医療センター消化器・内分泌科  
 植村貞繁 川崎医科大学小児外科  
 大塚宜一 順天堂大学医学部小児科  
 大場大樹 東京都立小児総合医療センター総合診療科  
 川野孝文 聖路加国際病院小児外科  
 川原央好 浜松医科大学小児外科  
 木村貞美 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科  
 草刈麻衣 信州大学医学部小児科  
 窪田昭男 和歌山県立医科大学第2外科  
 鈴木則夫 群馬県立小児医療センター外科

関 祥孝	久留米大学医学部小児科
高野智子	大阪府立急性期・総合医療センター小児科
高柳恭子	市立堺病院小児科
龍城真衣子	群馬大学医学部小児科
塚原央之	岩手医科大学医学部小児科
土岐文彰	群馬県立小児医療センター外科
中尾紀恵	大阪府立母子保健総合医療センター
中澤僚子	群馬大学医学部小児科
中野美和子	さいたま市立病院小児外科
西 明	群馬県立小児医療センター外科
西亦繁雄	東京医科大学小児科
西本裕紀子	大阪府立母子保健総合医療センター栄養管理室
平林 健	東海大学医学部小児外科
深堀 優	久留米大学医学部小児外科
藤井喜充	関西医科大学医学部小児科
藤谷朝実	済生会横浜市東部病院栄養部
星野 健	慶應義塾大学医学部小児外科
武藤 充	鹿児島大学医学部小児外科
村上研一	東海大学医学部小児外科
村越孝次	東京都立小児総合医療センター消化器科
若林康子	王子生協病院小児科

### 外部評価委員

吉田雅博	日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部部長/ 国際医療福祉大学臨床医学研究センター
------	---

### 役割分担表

氏名	分野別担当者(◎はリーダー)										統計
	定義と分類	疫学・予後	病態生理	診断	治療総論	disim-paction	維持療法-生活・排便習慣	維持療法-食事療法	維持療法-薬物療法	外科治療	
作成委員											
友政 剛				○	◎		○				
松藤 凡	○		○								
位田 忍			○					◎			
岩井 潤						◎					
牛島高介	◎	○				○					
岡田和子					○		◎		○		
羽鳥麗子	○	◎				○		◎			
八木 実			◎						○		
渡邊芳夫				○						○	
上野 滋					○						
奥田真珠美							○	○			
河島尚志		○							○		
窪田正幸										◎	
窪田 満				○		○				○	
佐々木美香						○				○	
清水俊明	○							○			
十河 剛		○						○			
高野邦夫									○		
田口智章				○							
田尻 仁			○						○		
中山佳子		○		◎			○				
協力者											
竹内一夫											○
大塚宜一	○				○			○			
塚原央之						○					
中野美和子					○						
藤井喜充				○		○					